

◇『SDGs』って？

理事 木田洋一

＜図1＞ SDGsという言葉を知っていますか (SA)



－SDGsに関する調査－2020.02.20 株式会社クロス・マーケティング

社会の流れを読むことが、広報の大事なポイントです。今は「コロナ禍」、これからは「ワクチン」、コロナ禍の前だったら「過重労働」ということがメディアのキーワードでした。

次のキーワードとして「SDGs」に注目します。ご存じのようにたくさんの方が胸につけているバッジです。株式会社クロスマーケティングの調査によると「SDGs」という言葉を知っている人は2019年から20年の1年の間に、大学生と大学院生で25.3%から52.1%、社会人では14.7%から25.9%に急激に増えています。

「SDGs」は持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) と大上段に構え、「貧困」から「地球環境」、「ジェンダー」さらには「成長」まで17の目標からなる幅広いものだとご存じだと思います。まさしくこの時代に大事な目標ですが、一方でビジネスとして考えるとこうした目標を考えながらビジネスをするのは難しいと思っていました。しかし、大学で「企業の社会的責任」という授業をするために調べてみると、急激に認知度が上がっているだけではなく、学生の就職先の選択に「SDGs」に積極的に取り組んでいる企業だということが「とても優位になる」が12.6%、「まあまあ優位」も36.1%となっているとわかりました。人財の確保にとっても、重要なテーマになってきています。さらに、サステナブル商品についても「利用、購入している」「今後積極的に購入したい」が社会人で10.7%、学生で17.7%となっています。そして注目は「良い商品があれば購入したい」で、社会人が38.6%、学生が45.5%となっていました。

これはメディアにとっても商品を取り上げる重要なポイントになります。

だったら「SDGs」を、いかに自社の商品と関連付けられるか考えてみませんか。

それが、広報らしい発想です。

◇リモート講演に挑戦！

代表理事 竹原信夫

◎近畿から離れて講演

先日、久しぶりに近畿圏から少し離れたところで講演をやりました。新型コロナウイルス感染拡大から講演活動もほとんど無くなりました。1月以来の講演です。

ただ、これまでのようなお客様の前での講演ではなく、急速に普及したリモートでの講演でした。大学の授業やセミナーでのミニ講演はリモートでも対応していますが、90分の本格的なリモート講演は初めてでした。

◎トラブル乗り越え開始

事前に準備をして自信を持って本番に臨みましたが、やっぱりトラブルが発生です。ボクの取材風景のビデオを流そ



うとしたのですが、なかなかうまく行きません。

開始時間の2-3分前になって、なんとかつながり写すことが出来ました。会場は地方ホテルで、モニターが設置されています。画面を通して見た感じでは、ホテル会場には数人が参加されていました。

#### ◎皆さんの表情分からない

大半の方は、事務所か自宅からの参加でしょう。こちらからはなかなか、皆さんの表情が分かりません。ちゃんと聞いてもらっているのか？それとも、居眠りしておられるのか？

笑い声も聞こえません。そう、全く反応がないのです。でも、しっかりと聞いてくれていると思い込むことにして、90分の間、編集センターのパソコンのカメラに向かって話し続けました。

#### ◎編集センターでの仕事再開

その後は大きなトラブルもなく、無事に講演を終了。皆さんの拍手をいただきながら、画面から退出させていただきました。お客様の反応がほとんど分からないので、やった感はリアルに比べると、かなり低いです。無事に終わったという安堵感の中、編集センターでの仕事を再開しました。

#### ◎移動時間の無駄省く

今までなら大阪駅から2時間かけて会場へ出向き、さらに現地から2時間かけて帰ります。講演時間を入れると6時間以上になってしまいます。

リモートなら終わった瞬間、もう編集センターに戻れるのです。これは素晴らしいことです。移動時間の無駄を完全に省くことができるのです。疲れもあまりありません。

#### ◎リモートで1.5倍の仕事

これならリモート講演の方が楽やな、これからもリモート講演ええやないか、つつい思っていました。講演会場から一瞬にして戻っての仕事。今まで想像できない便利さです。

経営者さんもおっしゃいます。「これまで、2時間程度の会議のため、東京出張していましたが、リモートになって本当に助かりました」と。時間に余裕ができ、1.5倍の仕事が出来ていますと喜ばれます。

#### ◎地域を気にせずに講演

確かに、リモートの効率化は想像以上です。ボクは今まで講演は日帰りを条件にしており、泊まりの講演は原則お断りして来ました。

でも、これなら北海道や鹿児島でも地域を気にせずに編集センターからつないで、講演が成立します。うまいことやると、講演の仕事を増やすことが出来そうです。

#### ◎収録ビデオ講演も

飲食店がコロナ禍で、出前のデリバリーサービスでカバーしたように、ボクもリモート講演に力を入れようと思いました。それにはリアルではないリモートの特色を出すべきではと。

例えば、30分、60分、90分とあらかじめ録画した講演録を提供。後の質問タイムだけはリモートで生で対応をする。もちろん割安でね。

海外在住の方にも参加いただき、それぞれの国でのビジネス事情を対談風にするのも簡単に出来そうです。どこまで出来るか分かりませんが、夢が広がって来ました。今からリモート講演に挑戦です。